

# はじめよう つながる・輝く

# —協働のまちづくり手引書— まちづくり



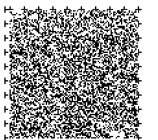
協働に取り組むためのガイドブック



久留米市イメージキャラクター

くるっば

久留米市



# はじめに — 協働のまちづくりと本手引書について —

久留米市では、市民のみなさんと市による協働のまちづくりを、市政運営の重点的取り組みとして推進しています。

協働という言葉の意味は、「同じ目的のために、協力して働くこと」とされていますが、本手引書では、協働のまちづくりを、市民・地域コミュニティ組織(自治会、各種住民団体、校区コミュニティ組織など)・市民公益活動団体(ボランティア団体・NPOなど)・事業者・市などが、互いの立場や特性を理解し、尊重しながら、それぞれの役割と責任において、単独または連携・協力して、まちづくりに取り組むこととしています。

## 時代の変化や地域にあったまちづくり

少子・高齢化とともに、個人の生活習慣や地域への意識が変わったことをきっかけに、さまざまな地域課題が生じています。そのため、時代の変化と地域の実情にあった質の高いまちづくりが求められています。

市民のみなさんの多様なニーズに応えるためには、市によるサービスに加え、地域をよく知る地域コミュニティ組織のみなさんや市民公益活動団体のみなさんとともに、地域の課題解決に取り組んでいくことが効果的です。

## コミュニティの活性化

市内には、46の校区コミュニティ組織、約670の自治会、400を超えるボランティア団体やNPOなどの市民公益活動団体があり、多くの市民のみなさんが公益的な活動を行っています。

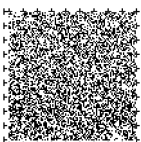
それぞれの組織が、自らの持つ知恵と力を生かしながら、進んでまちづくりに取り組むことで、きめの細かいサービス提供と地域の活性化につながります。

久留米市の今後のまちづくりを考える上では、市の取り組みに加え、市民のみなさんによるさまざまな公益的な活動がより重要になっています。久留米市では、みなさんの活動がさらに活性化していくことをめざし、「久留米市市民活動を進める条例」を平成24年4月に施行しました。

さまざまな地域課題の解決には、みなさんの独自の活動に加え、久留米市との協働による取り組みが求められています。

本手引書は、地域コミュニティ組織や市民公益活動団体のみなさんが、久留米市と一緒に協働のまちづくりを行っていくにあたり、取り組むときの進め方や大切にしたいこと、市民のみなさんが活動するときに便利な情報などをまとめたものです。

作成にあたっては、地域コミュニティ組織や市民公益活動団体などの市民のみなさんにご助言をいただきました。本手引書が協働のまちづくりに取り組むみなさんのお役に立つことができれば幸いです。



# もくじ

協働のまちづくり活動	■協働のまちづくりってどんな活動？	2
組織・団体の意味	■地域コミュニティ組織って？	4
	■市民公益活動団体って？	5
協働を始めるステップ	■協働のまちづくりの進め方は？	6
	■始める前に何をチェックする？	8
協働のチェック項目	■次の活動に生かすために何をチェックする？	9
	■協働のまちづくりのポイントは？	10
補助制度	■補助制度を紹介します	11
	■市民活動サポートセンターに行ってみよう	12
市民活動	■ボランティア活動に参加してみよう	13
	■安心して活動するための補償があります	14
保険	■会議などで使える施設を紹介します	16
	■校区コミュニティ組織を紹介します	18
施設	■久留米市市民活動を進める条例	20
校区コミュニティ組織一覧		
条例		



## 表紙の写真について

- ①筑後川と菜の花
- ②次代を担う子どもの笑顔
- ③高齢者への傾聴活動を行うボランティア
- ④学生・地域・ボランティア団体による交流会
- ⑤災害ボランティアによる被災地支援活動
- ⑥耳納連山と久大本線を走る列車

よろしくね！



久留米市イメージキャラクター **くまっば** です

